

令和3年 京都五山送り火について

令和3年京都五山送り火につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点により、市民や観光客の方々及び保存会の会員の密集・密接を回避するため、例年どおりの点火は行いません。

送り火は、お盆にお帰りになられた先祖の霊（お精霊^{しょうらい}）を、お盆の最終日の8月16日に再び冥府にお送りする大切な行事ですので、昨年に引き続き、大幅に規模を縮小して実施します。

来年こそは新型コロナウイルス感染症の流行が終息し、通常どおりの送り火を執り行えるよう、連合会一同祈念しております。

皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、今年の送り火は見学にお出かけにならず、ご自宅等で静かなお盆をお過ごしください。

○各送り火の規模縮小について

昨年同様の実施となります。

大文字送り火	6箇所点火
松ヶ崎妙法送り火	妙・法それぞれ1箇所点火
船形万燈籠送り火	1箇所点火
左大文字送り火	1箇所点火
鳥居形松明送り火	2箇所点火

○護摩木の志納受付

令和3年の護摩木の志納受付は行いません。